

ピラールで家族慰安運動会

晴天下で一千人が汗流す



歯を食いしばり、力いっぱい走る子供たち

ピラール・ド・スール 56回 家族慰安文化体育協会主催の「第...運動会」が8日、同地

運動場で開催され、晴天の下、参加した1千人以上の子供達が汗を流した。アントニオ・ジョゼ・ペレイラ同市長、近隣ソカリア市の文協役員などが控られ、午後からは県連の岡田昭憲会長や山村敏明UCES(聖南西文化体育連盟)会長も姿を見せた。

7〜16歳までの約25人の児童で構成される「親友太鼓」は日頃の練習の成果を披露し、参加者はその迫力ある演奏に聞き入った。

婦人会・母の会・日本語学校教師合同の踊り最後は全員による踊り

でもある。振り付けも、必ずしもダンス経験者が担当するわけではない。振り付け担当の小林ステファニーさん(21、四世)は約5年前にグループに入るまで、一切ダンス経験はなかった。「振り付けは2人で作って、ペア同士でやり方を伝えていくの。一番大事なのは、グループ・サンセイらしいダンスにすること」と語る。

「YOSAKOIは新しいけど、敬意、感謝、規律という古い日本の価値がある」。それを日系・伯南社会に伝えることに喜びを見出している。そして、「いい人間、いいリーダーになりたい」というのも、目的の一つです」と付け加えた。

メンバーたちの練習は真剣そのものだが、大会に勝つためのがむしゃらにならなければならない。彼らの目標はもっと先にあるようだ。(つづき、見島阿佐美記者)

斜面のまだ金脈に行き着いていない区域は盛んに仕事をしているが、肝心の金産出区画は水に浸ったままで、どうにもならない。この前から処理場に運んでいた八百俵ばかりのカスカリヨを洗い始めた。午前中五十俵洗って荒探りしてみたが、砂金の光が一つとして見えない。こんな筈ではないと、目を皿のようにして見るが黒い砂鉄ばかり。磁石を近づけると皆な飛びついてくる。だんごのように磁石について、あとには何にも残らない。カスカリヨも非常にむらがあり、同じ色をしていれればカスカリヨとして取り上げる。

五十俵洗ったつたの三グラムでは話にもならぬ。全く予算が狂ってしまった。ひよつとした中に良いのが混ざってないかと、祈る気持ちで洗い始めたのだが、一日中洗って五グラムあるかなと配水代にもならなかった。八百俵の中に良いのがないかと、四日間ブツとおし洗って半分消化した。仕上げをしてみると砂鉄ばかりで唾然となった。残りのカスカリヨを少しずつ袋から取り出し、テストしてみたがこれも駄目であった。ジョンを呼びつけ「こんなものに毎日大金を払って、何で運んだのか無駄使いも甚だしい、お前はめくら」と怒鳴ってやっめた。しかし彼の言い分にも一理あり、たまにセーゴの中に何キロと金が入っていることがある。せめて空袋だけでも再利用したいので、処理場の隅にセーゴを袋から出して積み上げておいた。採金場は相変わらず水浸し。週に一日掘ったら又満水の繰り返しである。あと二、三メートル掘れば、良い金脈に行き着くと思えば、黄きしりがやまず気が狂いそうである。

八月三十一日、崖崩れが余りにも多発するので、我々の区画であるブラナード区域の上削りを始めるというところで、仕事中止命令がでた。十日間というのだが、仕事の規模からして一月間ではかかるだろう。カスカリヨを洗って予定していた金が出ず、意気消沈していた矢先に中止宣言である。やけくそになって、ロンドリーナに帰った。

九月十二日、朝まだ床にいる時期にセーラベラダから電話がかかってきた。ジョンのたどたどしい声である。採金場がやっとなんか出るようになり、機械が落ち込んだ土を取り上げ、カスカリヨらしき層を掘り始めたので、今週中にはきつと良いのと言った。こんな調子で何時も騙されどおしく、ロンドリーナのわが家にいたら楽なんでも、あんなん山奥まで行くのがおしく、つい延び延びになって二カ月も過ぎてしまった。今年いっぱい閉山するとか、延期されたとかの繰り返しで、一向に真相は分らない。

十一月五日、ジョンの電話で、延期される場合、地権の確認を登記する必要があるから出て来いというところで重い足を上げて出発した。十一月十五日までで閉山するとのことであったが、ガリンベイト大佐が居る態度をとり、連日議員になった元セーラベラダ指揮官クリオ大佐が奔走し、国会で五年間の延期を取り付けた。上院でも議決したということだった。五年間あれば、そのうちドンと当たるだろう。今のところ崖崩れなどですまないが、時間を待たせれば解決することなのだ。

それから又一週間後、クリオ大佐が大統領と直接談判し、許可を取りつけたとか、どっちになるか、さっぱり分らない。仕事の準備に困り取りつたので、採金場は満々と水が溜まり湖になった。人夫たちをそのまま小屋に置いて賄っているが、仕事は出来ず、遊ばして食わしているばかり。彼らには極楽天国であるが、こっちはたまらないうつろいではない。全員を小屋に集め会議を開く、もちろんこの状態のまま継続するのがパトロンの義務であると言って一歩も引かない。この前採れた金の銭があるから、俺たち一年ぐらゐ食わせても何の事はないと思まく。今まで投資した資金など、てんで理解しようと思さない。

YOSAKOI-NI-MIO-NO

第9回

グループ・サンセイ強さの秘密 (上)

当地のYOSAKOI大会初出場にして総合優勝を果たし、その後も5回の優勝をさらったグループ・サンセイ。一体、その強さの秘密はどこにあるのか。パラナ州ロンドリーナ市にある、同グループの会館を訪ねた。

加わる。年齢は13歳〜30代だが、今年3〜10歳までの子どもクラスも開設した。2年前からリーダーを任されている田中タチアナさん(21、三世)は「私たちのグループにも、誰も専門家はいない。振り付けは2人のメンバーが作って、ユニフォームはグループの建築関係のメンバーがデザインしている」と語る。

6月にあった札幌の大会に出場するためブラジル国旗色で作ったTシャツが、今年のユニフォームとして選ばれた。現リーダーと一緒

りには、総勢40人以上が参加。婦人会や母の会はこの日のために週に2回集まって特訓を行い、女性会員の存在感を見せつけた。

その他日本語学校の演目として、今年幼稚園生から上級生84人で応援団が形成された。教師によれば、最初応援団がどういうものかわからず生徒達は恥ずかしがっていたが、ビデオを見せ練習を続けるうちにやる気が出てきたという。高学年生は太鼓の音と共に力強い演奏を披露し、低学年生は応援歌を元気いっぱいに歌い、日本語をグラウンドに響かされた。

でもある。振り付けも、必ずしもダンス経験者が担当するわけではない。振り付け担当の小林ステファニーさん(21、四世)は約5年前にグループに入るまで、一切ダンス経験はなかった。「振り付けは2人で作って、ペア同士でやり方を伝えていくの。一番大事なのは、グループ・サンセイらしいダンスにすること」と語る。

メンバーたちの練習は真剣そのものだが、大会に勝つためのがむしゃらにならなければならない。彼らの目標はもっと先にあるようだ。(つづき、見島阿佐美記者)

斜面のまだ金脈に行き着いていない区域は盛んに仕事をしているが、肝心の金産出区画は水に浸ったままで、どうにもならない。この前から処理場に運んでいた八百俵ばかりのカスカリヨを洗い始めた。午前中五十俵洗って荒探りしてみたが、砂金の光が一つとして見えない。こんな筈ではないと、目を皿のようにして見るが黒い砂鉄ばかり。磁石を近づけると皆な飛びついてくる。だんごのように磁石について、あとには何にも残らない。カスカリヨも非常にむらがあり、同じ色をしていれればカスカリヨとして取り上げる。

五十俵洗ったつたの三グラムでは話にもならぬ。全く予算が狂ってしまった。ひよつとした中に良いのが混ざってないかと、祈る気持ちで洗い始めたのだが、一日中洗って五グラムあるかなと配水代にもならなかった。八百俵の中に良いのがないかと、四日間ブツとおし洗って半分消化した。仕上げをしてみると砂鉄ばかりで唾然となった。残りのカスカリヨを少しずつ袋から取り出し、テストしてみたがこれも駄目であった。ジョンを呼びつけ「こんなものに毎日大金を払って、何で運んだのか無駄使いも甚だしい、お前はめくら」と怒鳴ってやっめた。しかし彼の言い分にも一理あり、たまにセーゴの中に何キロと金が入っていることがある。せめて空袋だけでも再利用したいので、処理場の隅にセーゴを袋から出して積み上げておいた。採金場は相変わらず水浸し。週に一日掘ったら又満水の繰り返しである。あと二、三メートル掘れば、良い金脈に行き着くと思えば、黄きしりがやまず気が狂いそうである。

八月三十一日、崖崩れが余りにも多発するので、我々の区画であるブラナード区域の上削りを始めるというところで、仕事中止命令がでた。十日間というのだが、仕事の規模からして一月間ではかかるだろう。カスカリヨを洗って予定していた金が出ず、意気消沈していた矢先に中止宣言である。やけくそになって、ロンドリーナに帰った。

九月十二日、朝まだ床にいる時期にセーラベラダから電話がかかってきた。ジョンのたどたどしい声である。採金場がやっとなんか出るようになり、機械が落ち込んだ土を取り上げ、カスカリヨらしき層を掘り始めたので、今週中にはきつと良いのと言った。こんな調子で何時も騙されどおしく、ロンドリーナのわが家にいたら楽なんでも、あんなん山奥まで行くのがおしく、つい延び延びになって二カ月も過ぎてしまった。今年いっぱい閉山するとか、延期されたとかの繰り返しで、一向に真相は分らない。

十一月五日、ジョンの電話で、延期される場合、地権の確認を登記する必要があるから出て来いというところで重い足を上げて出発した。十一月十五日までで閉山するとのことであったが、ガリンベイト大佐が居る態度をとり、連日議員になった元セーラベラダ指揮官クリオ大佐が奔走し、国会で五年間の延期を取り付けた。上院でも議決したということだった。五年間あれば、そのうちドンと当たるだろう。今のところ崖崩れなどですまないが、時間を待たせれば解決することなのだ。

それから又一週間後、クリオ大佐が大統領と直接談判し、許可を取りつけたとか、どっちになるか、さっぱり分らない。仕事の準備に困り取りつたので、採金場は満々と水が溜まり湖になった。人夫たちをそのまま小屋に置いて賄っているが、仕事は出来ず、遊ばして食わしているばかり。彼らには極楽天国であるが、こっちはたまらないうつろいではない。全員を小屋に集め会議を開く、もちろんこの状態のまま継続するのがパトロンの義務であると言って一歩も引かない。この前採れた金の銭があるから、俺たち一年ぐらゐ食わせても何の事はないと思まく。今まで投資した資金など、てんで理解しようと思さない。

グループの強さの理由を聞くと、しばらく考え「多分、いつも次のリーダーを訓練しているからだと思う」と答えた。ここではリーダーも振り付け指導も交替制で、特定のメンバーに役割が偏らないようにしている。グループからリーダー性のある人が選ばれ、現リーダーと一緒に

りには、総勢40人以上が参加。婦人会や母の会はこの日のために週に2回集まって特訓を行い、女性会員の存在感を見せつけた。

その他日本語学校の演目として、今年幼稚園生から上級生84人で応援団が形成された。教師によれば、最初応援団がどういうものかわからず生徒達は恥ずかしがっていたが、ビデオを見せ練習を続けるうちにやる気が出てきたという。高学年生は太鼓の音と共に力強い演奏を披露し、低学年生は応援歌を元気いっぱいに歌い、日本語をグラウンドに響かされた。

でもある。振り付けも、必ずしもダンス経験者が担当するわけではない。振り付け担当の小林ステファニーさん(21、四世)は約5年前にグループに入るまで、一切ダンス経験はなかった。「振り付けは2人で作って、ペア同士でやり方を伝えていくの。一番大事なのは、グループ・サンセイらしいダンスにすること」と語る。

メンバーたちの練習は真剣そのものだが、大会に勝つためのがむしゃらにならなければならない。彼らの目標はもっと先にあるようだ。(つづき、見島阿佐美記者)

斜面のまだ金脈に行き着いていない区域は盛んに仕事をしているが、肝心の金産出区画は水に浸ったままで、どうにもならない。この前から処理場に運んでいた八百俵ばかりのカスカリヨを洗い始めた。午前中五十俵洗って荒探りしてみたが、砂金の光が一つとして見えない。こんな筈ではないと、目を皿のようにして見るが黒い砂鉄ばかり。磁石を近づけると皆な飛びついてくる。だんごのように磁石について、あとには何にも残らない。カスカリヨも非常にむらがあり、同じ色をしていれればカスカリヨとして取り上げる。

五十俵洗ったつたの三グラムでは話にもならぬ。全く予算が狂ってしまった。ひよつとした中に良いのが混ざってないかと、祈る気持ちで洗い始めたのだが、一日中洗って五グラムあるかなと配水代にもならなかった。八百俵の中に良いのがないかと、四日間ブツとおし洗って半分消化した。仕上げをしてみると砂鉄ばかりで唾然となった。残りのカスカリヨを少しずつ袋から取り出し、テストしてみたがこれも駄目であった。ジョンを呼びつけ「こんなものに毎日大金を払って、何で運んだのか無駄使いも甚だしい、お前はめくら」と怒鳴ってやっめた。しかし彼の言い分にも一理あり、たまにセーゴの中に何キロと金が入っていることがある。せめて空袋だけでも再利用したいので、処理場の隅にセーゴを袋から出して積み上げておいた。採金場は相変わらず水浸し。週に一日掘ったら又満水の繰り返しである。あと二、三メートル掘れば、良い金脈に行き着くと思えば、黄きしりがやまず気が狂いそうである。

八月三十一日、崖崩れが余りにも多発するので、我々の区画であるブラナード区域の上削りを始めるというところで、仕事中止命令がでた。十日間というのだが、仕事の規模からして一月間ではかかるだろう。カスカリヨを洗って予定していた金が出ず、意気消沈していた矢先に中止宣言である。やけくそになって、ロンドリーナに帰った。

九月十二日、朝まだ床にいる時期にセーラベラダから電話がかかってきた。ジョンのたどたどしい声である。採金場がやっとなんか出るようになり、機械が落ち込んだ土を取り上げ、カスカリヨらしき層を掘り始めたので、今週中にはきつと良いのと言った。こんな調子で何時も騙されどおしく、ロンドリーナのわが家にいたら楽なんでも、あんなん山奥まで行くのがおしく、つい延び延びになって二カ月も過ぎてしまった。今年いっぱい閉山するとか、延期されたとかの繰り返しで、一向に真相は分らない。

十一月五日、ジョンの電話で、延期される場合、地権の確認を登記する必要があるから出て来いというところで重い足を上げて出発した。十一月十五日までで閉山するとのことであったが、ガリンベイト大佐が居る態度をとり、連日議員になった元セーラベラダ指揮官クリオ大佐が奔走し、国会で五年間の延期を取り付けた。上院でも議決したということだった。五年間あれば、そのうちドンと当たるだろう。今のところ崖崩れなどですまないが、時間を待たせれば解決することなのだ。

それから又一週間後、クリオ大佐が大統領と直接談判し、許可を取りつけたとか、どっちになるか、さっぱり分らない。仕事の準備に困り取りつたので、採金場は満々と水が溜まり湖になった。人夫たちをそのまま小屋に置いて賄っているが、仕事は出来ず、遊ばして食わしているばかり。彼らには極楽天国であるが、こっちはたまらないうつろいではない。全員を小屋に集め会議を開く、もちろんこの状態のまま継続するのがパトロンの義務であると言って一歩も引かない。この前採れた金の銭があるから、俺たち一年ぐらゐ食わせても何の事はないと思まく。今まで投資した資金など、てんで理解しようと思さない。

十一月五日、ジョンの電話で、延期される場合、地権の確認を登記する必要があるから出て来いというところで重い足を上げて出発した。十一月十五日までで閉山するとのことであったが、ガリンベイト大佐が居る態度をとり、連日議員になった元セーラベラダ指揮官クリオ大佐が奔走し、国会で五年間の延期を取り付けた。上院でも議決したということだった。五年間あれば、そのうちドンと当たるだろう。今のところ崖崩れなどですまないが、時間を待たせれば解決することなのだ。

それから又一週間後、クリオ大佐が大統領と直接談判し、許可を取りつけたとか、どっちになるか、さっぱり分らない。仕事の準備に困り取りつたので、採金場は満々と水が溜まり湖になった。人夫たちをそのまま小屋に置いて賄っているが、仕事は出来ず、遊ばして食わしているばかり。彼らには極楽天国であるが、こっちはたまらないうつろいではない。全員を小屋に集め会議を開く、もちろんこの状態のまま継続するのがパトロンの義務であると言って一歩も引かない。この前採れた金の銭があるから、俺たち一年ぐらゐ食わせても何の事はないと思まく。今まで投資した資金など、てんで理解しようと思さない。

で締めると、会場からは大きな拍手と声援があつた。日本の小学校の運動会を彷彿とさせる発表で、日本語学校の卒業生の川畑唯美さん(21、三世)は「日本語学校の出し物は「毛筆・硬筆・作文」

でしようか。回答：交通局に電話をすれば、職員がやってきてトラックで回収します。その後、持ち主が車を取りに行くときに罰金が徴収されます。州政府の管轄であるCET(交通技術公社、電話11188)に連絡すれば、す

質問の送り先はEメール(ademarkoga@gmail.com)、FAX(11-3208-0733)、手紙(「ニッケイ法律相談」係、Rua Galvao Bueno, 470, 1o. andar, Liberdade, Sao Paulo, SP CEP 01506-000)まで。質問は日本語でもポルトガル語でも、質問内容をできるだけ明確にしてお寄せください。

証人として裁判所に呼ばれませんでした。しかし私はその問題について何も知らないのだから、行きたくありません。どうすればよいでしょうか。回答：裁判所に呼ばれたら、行くしかありません。行って「何も知らない」と言えばよいのです。そう言ったことだと原告や被告のいずれかが有利、あるいは不利になったとしても、それが嘘でなければ証人に責任はありません。

質問ある刑事事件の責任はあります。質問ある刑事事件の責任はあります。

質問ある刑事事件の責任はあります。質問ある刑事事件の責任はあります。

質問ある刑事事件の責任はあります。質問ある刑事事件の責任はあります。

質問ある刑事事件の責任はあります。質問ある刑事事件の責任はあります。

質問ある刑事事件の責任はあります。質問ある刑事事件の責任はあります。

質問ある刑事事件の責任はあります。質問ある刑事事件の責任はあります。

質問ある刑事事件の責任はあります。質問ある刑事事件の責任はあります。

質問ある刑事事件の責任はあります。質問ある刑事事件の責任はあります。

質問ある刑事事件の責任はあります。質問ある刑事事件の責任はあります。



会館に集まったメンバーたち



資金集めに55回ものイベントを開催し、家族も力を貸した

グループ・サンセイらしきダンスにすること」と語る。メンバーたちの練習は真剣そのものだが、大会に勝つためのがむしゃらにならなければならない。彼らの目標はもっと先にあるようだ。(つづき、見島阿佐美記者)

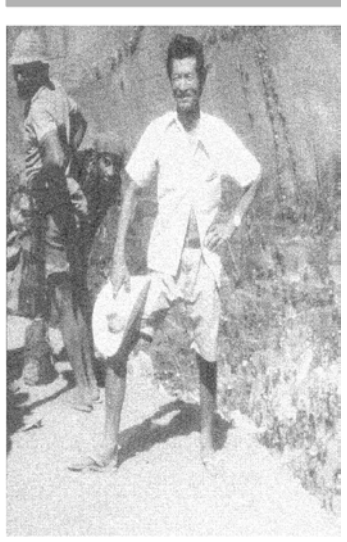
斜面のまだ金脈に行き着いていない区域は盛んに仕事をしているが、肝心の金産出区画は水に浸ったままで、どうにもならない。この前から処理場に運んでいた八百俵ばかりのカスカリヨを洗い始めた。午前中五十俵洗って荒探りしてみたが、砂金の光が一つとして見えない。こんな筈ではないと、目を皿のようにして見るが黒い砂鉄ばかり。磁石を近づけると皆な飛びついてくる。だんごのように磁石について、あとには何にも残らない。カスカリヨも非常にむらがあり、同じ色をしていれればカスカリヨとして取り上げる。

五十俵洗ったつたの三グラムでは話にもならぬ。全く予算が狂ってしまった。ひよつとした中に良いのが混ざってないかと、祈る気持ちで洗い始めたのだが、一日中洗って五グラムあるかなと配水代にもならなかった。八百俵の中に良いのがないかと、四日間ブツとおし洗って半分消化した。仕上げをしてみると砂鉄ばかりで唾然となった。残りのカスカリヨを少しずつ袋から取り出し、テストしてみたがこれも駄目であった。ジョンを呼びつけ「こんなものに毎日大金を払って、何で運んだのか無駄使いも甚だしい、お前はめくら」と怒鳴ってやっめた。しかし彼の言い分にも一理あり、たまにセーゴの中に何キロと金が入っていることがある。せめて空袋だけでも再利用したいので、処理場の隅にセーゴを袋から出して積み上げておいた。採金場は相変わらず水浸し。週に一日掘ったら又満水の繰り返しである。あと二、三メートル掘れば、良い金脈に行き着くと思えば、黄きしりがやまず気が狂いそうである。

八月三十一日、崖崩れが余りにも多発するので、我々の区画であるブラナード区域の上削りを始めるというところで、仕事中止命令がでた。十日間というのだが、仕事の規模からして一月間ではかかるだろう。カスカリヨを洗って予定していた金が出ず、意気消沈していた矢先に中止宣言である。やけくそになって、ロンドリーナに帰った。

九月十二日、朝まだ床にいる時期にセーラベラダから電話がかかってきた。ジョンのたどたどしい声である。採金場がやっとなんか出るようになり、機械が落ち込んだ土を取り上げ、カスカリヨらしき層を掘り始めたので、今週中にはきつと良いのと言った。こんな調子で何時も騙されどおしく、ロンドリーナのわが家にいたら楽なんでも、あんなん山奥まで行くのがおしく、つい延び延びになって二カ月も過ぎてしまった。今年いっぱい閉山するとか、延期されたとかの繰り返しで、一向に真相は分らない。

記 杉本有朋



杉本有朋

(39)

クラシファイカード

ニッケイ新聞のクラシファイカードが力になります!

※尚クラシファイカード広告は7月27日で終了です!

例(原寸大)

教えます
ポルトガル語
週2・3回、個別指導
電話(11)XXXX-XXXX

Aタイプ
(横35mm X 高17mm)
1週間に2回掲載で
R\$ 20,00

例(原寸大)

売ります
木製本棚
5段(調整可能)
大きさ:2m X 1,5m
ほぼ未使用、新品同様
家まで届けます
電話(11)XXXX-XXXX

Bタイプ
(横35mm X 高39mm)
1週間に2回掲載で
R\$ 30,00

Acupuntura 針灸
Laser - Moxa Japonesa - Plantas Medicinas
DRA. MONICA Y. MORISHITA
BIOMÉDICA 生物医学師
PÓS-GRADUAÇÃO em ACUPUNTURA
大学院で針灸学を専攻いたしました
いろんな痛みと病気に
Rua Thomas Gonzaga, 95-M (wate-Kenjinkai) - Liberdade - S.P.
Contato = (11) 9236-3956 / 2639-0572

PC LIBERDADE
パソコンのことなら何でも!
修理・設置・指導・PCの日本語化
日・ポ両語対応
PCの販売/激安の中古PCもあります
(11) 8558-7552

痛みと疲れをいやす
武術医術・指圧・整体・針灸

生命を維持しようとする活力 **気** 臓器を与える物質 **血** 生命活動を支える体液 **水**

3つの流れのスムーズな循環により健康が維持されている

R. Galvão Bueno, 57 - Sl. 121 (メトロ・リベルダーデ)
Tel: (11) 3208-5132 森山

Procuo SENHORA
acima de 50 anos
para cuidar de bebe
Próx. metrô Pça. da Árvore
tratar com adriana
(11) 2925-5574
7641-2177

OPORTUNIDADE! APARTAMENTO
2 dorms., perto do Shopping, rodoviária, faculdade
em Mogi das Cruzes.
Apenas 200 mil reais aceita oferta
(11) 5117-2838 c/ CLAUDIA

売 モルンビー 墓地 **ガベッタ**
ブラック付き/場所良し
ペローリヨ/水道に近し
TEL: (11) 9272-3544
flavio.shb@hotmail.com

無料法律相談
外出が困難な方には自宅まで御伺い致します
有料相談
民法、商法、商業税金問題
会社の設立、相続、離婚など
TEL: (11) 3565-2175
Dra. JASMIN TAHARA

増改築の工事一式
タイル 塗装 電気 水道
ご用命は タナベ
4617-3889
6374-5381

日本間・畳
物造り一筋40年
山形工芸社
・寿司屋・和室
・手作り木製照明
・換
・カーテン代り
窓障子(和紙)
(11) 2546-5086
yamagatamoveis@gmail.com
www.yamagatamoveis.com.br

日本の年金・恩給相談と手続き
PENSÃO DO JAPÃO e RESTITUIÇÃO
戸籍簿本 (KOSEKI TOHON)
TEL/FAX: (11) 3105-6946 - CEL. 9985-3711

賃部屋 Aluga-se QUARTO
Rua São Paulo, 113
Liberdade - S. Paulo
(11) 8418-6090 青柳

琴 教える
琴持参で初心者教えます
(11) 7313-0323 (Cat.) LYA

あなたの広告をおまちしております

あなたの広告をおまちしております

金武町人移住百周年盛大に

慶祝団ら、5百人が祝う

ポリビア、米国ロスからも

沖繩県の金武町出身者のブラジル移住100周年を祝う式典が、儀武町長、町議、一般参加者らでつくる慶祝団46人を迎え、ブラジル沖繩県人会会館で8日午後、ゆかりの人ら約500人が節目を喜んだ。

ルーツ確認、交流活性化へ

1899年に沖繩初のハワイ移住を実現させた「移民の父」と呼ばれる同町出身の当山久三氏ら00人がブラジルに渡つて、



今年100歳を迎える安富祖カマドさん

ごあいさつ

金武町長 儀武剛



100年前から、移民の方々が言語や生活習慣の違うブラジルに渡り、厳しい生活を送りながら、故郷金武のことを忘れず、沖繩の復興にも温かい手を差し伸べてくださっていました。

金武町出身者の移住100周年を祝う記念式典、来賓のご参加を得て、大変光栄に存じます。

ごあいさつ

在伯金武町人会 会長 小橋川ヨルジ

金武町出身者の移住100周年を祝う記念式典、来賓のご参加を得て、大変光栄に存じます。

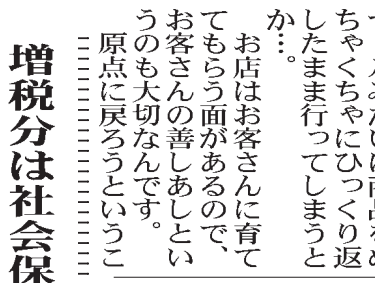
ロサンゼルス

仲田光子さん(74) サンパウロにある親戚の墓参りも兼ねた。「イチャリパチョーデー(一度会えば皆兄弟)」というけど金武町人は特別。やはり心がすぐ通うね」と顔をほころばせた。



ポリビア

伊宗正健さん(74) 「ブラジルの町人の活動を見たくて」と参加した。ポリビア金武町人会(12会員、サンタクルス市)の会長も務める。「こんな大きな式典を開催できる町人パワーを誇りに思う」



「同級生だから頑張れる」

町長と実行委員長が力あわせ



実行委員長の池原信栄さん(左)と、儀武町長。金武小学校の同級生

「同級生だからお互い、た儀武町長(50)にもっと頑張れる」。と、式典実行委員長を務めた池原信栄さん(51)も、

増税で店も客も冷える

商店街組合の木崎茂雄さん



「共同」社会保障と税の一体改革関連法案が衆院を通過し、消費税率アップが決定的となった。くらしはどう変わるのか、商売、雇用問題、育児などの分野で活躍する4人に聞いた。

木崎茂雄さん 増税で店も客も冷える。商店街は、自分の店のことを考えていて、

生活を変えるチャンス 文筆家やましたひでこさん



消費税率の5%アップが、人々の生活レベルの5%ダウンを意味するのではないか、と私は思います。

子どもに税金を使って 大分大の椋野美智子さん

都市化、核家族化で地域や親族の助けが借りにくくなり、母親にかかる子育ての負担は昔と比べものになりません。共働き世帯も増えています。

増税分は社会保障の充実に

NPO代表の稲葉剛さん



消費税率が3%から5%に上がった1997年、当時の比で、社会状況が大きく変わった。貧富の差が拡大し、非正規雇用や生活保護受給者が増え、皆ギリギリで暮らしている。

子どもに税金を使って 大分大の椋野美智子さん

政府が打ち出した「子ども子育て新システム」は、消費税率引き上げによる財源なしには実現しない。しかし、

社会保障と税の一体改革をめぐっては、消費税率アップが衆院で可決してしまい、関連法案に盛り込まれていた低所得者対策は骨抜きとなつた。

低所得者層ほど生活必需品購入費の割合が高くなり、生活への影響が大きくなってしまう。低所得者対策がなされず、増税のみとなれば、低所得者

子どもに税金を使って 大分大の椋野美智子さん

は、絶対に来ません。果敢はこれまでも何かとあるたびに、地域コミュニティの核に今も回、各店がどこまで我慢できるか不安ですが、耐え忍ぶしかないですね。きざき・しげお 43年生まれ。96年振興組